

海の事故情報（七管区） 【速報値】(2月14日～2月20日)

令和4年2月25日

船の事故	発生日	発生日	船船種類	事故形態
	2月16日(水)	山口県	漁船	乗揚
2月17日(木)	長崎県	貨物船	乗揚	
人の事故	発生日	発生日	事故区分	事故内容
	2月14日(月)	福岡県	マリレに伴う海浜事故	海中転落
2月15日(火)	長崎県	マリレに伴う海浜事故	海中転落	

**2週間で釣り中の海中転落が
3件発生**

【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 浦川
安全対策調整官 川部
Tel: 093-321-2931 (内線2640)

【事故事例】

令和4年2月15日06:00頃海上荒天の中、事故者は知人と一緒に外海に向けた防波堤で釣りを開始した。開始直後から波しぶきが洗う状態であったが、次第に波が高くなり、事故者が高波にさらわれたもの。知人1名も波にさらわれそうになったが、なんとか持ちこたえ110番にて、救助要請を行った。事故者は、意識不明の状態での救助され、救命措置により2月21日意識を取り戻した。なお、事故者はライフジャケットを着用していた。



◆海難発生・防止のポイント

○海上荒天時(海上風警報発令中)に釣りをしていた。
常に最新の気象情報入手し、天候の悪化する恐れがあるとき、天候が悪化したときは、釣行をあきらめるか、早めに納竿しましょう。また、波の高さは一定ではありません。100回に1回は高さが1.5倍近い波が発生しますので注意が必要です。



●助かったポイント

○複数名で行動していた。
知人と一緒に釣りをしており、海中転落してすぐに救助要請が可能であった。
○ライフジャケットを着用していた。
海中転落したが、ライフジャケットを着用していたことにより、意識を失っても身体が沈むことなく、浮いていることができた。

●より安全に釣りをするために

○**装備を万全に!**
ライフジャケットはもちろん、滑り止め効果の高い靴、防水携帯電話等必要な装備を着用しましょう。夜釣りの場合は、懐中電灯等を必ず持参しましょう。
○**釣行計画を第三者に伝えておく**
釣りをする場所・帰宅予定時刻を家族等の第三者にあらかじめ伝え、定期的に連絡しましょう。また、自分の現在地を第三者と共有できるアプリなどを利用するのも効果的です。
○**周囲の状況に注意する**
釣りに没頭することなく、波や風の状態を常に確認しましょう。また、岸壁、防波堤には様々な突起物や段差が存在します。準備中、釣り中、片付け中も周りの状況や足元に注意して釣りを楽しみましょう。

詳しくは、HP「ウォーターセーフティガイド(釣り編)」を確認しましょう。
URL <https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/fishing/index.html>

